

キャッチボール

三石中学校 学校便り No.7
令和6年 9月19日(木)
文責: 早川 政宏(教頭)

地域とともにある学校をめざして



9月14日(土)、第21回三石灯りの街が開催されました。三石中学校はこの日を登校日に設定し、中学生はMプロジェクト協議会の皆様や地域の皆様と協力しながら、地域の一員として、準備等に取り組みました。今年のテーマは「メッセージ」、地上絵のデザインはピクトグラムでした。地上絵のピクトグラムを見た人がそれぞれに想像力を働かせイメージ(男女2名、ジェンダーフリー、アダムとイブ等)を膨らませる。今までとはひと味違

った地上絵となりました。

武道場裏スペースには今年も中学生のブースを設けていただきました。3年生女子が総合的な学習の時間に作成した染め紙を灯明にセットし、「PEACE」を形作りました。また、備前焼体験(美術の授業)で作成した備前焼の灯明、来場者に書いてもらったメッセージを掲示する来場者参加型の提示物「メッセージの木」を展示しました。



- みんなと協力して作成した地上絵を見ると達成感を味わうことができた。
- 暑い中、地域の方々と協力して1つの行事を行えたことが嬉しかった。また来年も参加したい。
- 三石灯りの街には多くの人の思いが詰まっており、改めて三石地区の温かさを感じた。
- 「メッセージ」というテーマは、人の考え(発想力・イメージ)を大切にする機会になった。
- 準備が大変だったけれど、地上絵を見たときは嬉しかった。
- グラウンドの地上絵だけでなく、三石地区のいろいろな場所に灯りをつけているのが良い。
- 地域の方々と協力してつくりあげた地上絵は、本当に美しかった。
- 「地上絵を見た人がどう思うか」という、各自がテーマを考えるという発想が凄いと思った。
- 地上絵を校舎4階から見ているとき、「今年も凄いね」「今回のテーマは何かな」などの声が聞こえ、面白かった。
- 暑いときに作業をしたので、「しんどいな」「疲れたな」と思った。しかし、灯明に火がついたときには疲れがなくなった。来年も参加したい。



昼食は、地域ボランティアの皆様が準備してくださったカレーライスをお腹一杯いただきました。オープニングセレモニーでは、吹奏楽部が迫力ある演奏を行いました。21時の終了と同時に、多くの中学生も片付け撤収作業に参加してくれました。

準備が開始する際、Mプロの津村さんから、「中学生の協力なくして、成り立たない地域行事です。事故や怪我が絶対に起きないように、準備をお願いします」とのお話がありました。私は、地域の一員として、地域行事に一生懸命取り組む三石中学校を誇りに思います。今後も、地域とともにある学校をめざし、地域に貢献できる三石中学校をつくっていきましょう。